

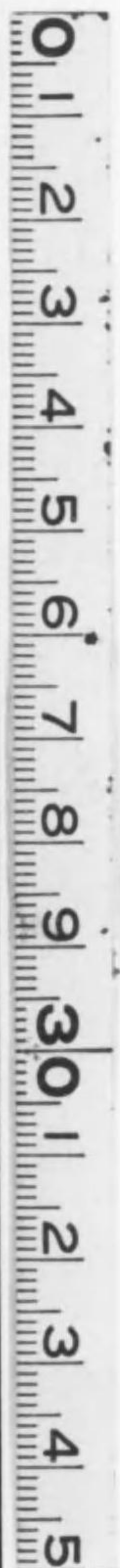
新藥百品考 後篇 上

特279-205



279

25



始



特 279
205

慶應二丙寅歲初夏新刻

坪井信良先生譯述

新藥百品考

後篇

原本獨逸歌憐貌康涅鬼氏著
紀元十八百五十七年鏤行

初白樓藏梓



新藥百品考二編目次

複方治癌酸 一

沃實涅安質母 一

青酸銀 二

沃實涅銀 二

沃實涅砒 三

沃實涅金 四

塩酸金曹達 五

硝酸金液 六

凍瘡膏 八

沃實涅水素酸重土 八

纈草酸昆斯密篤 九

貌留失涅 九

沃度加爾基 十

炭酸沃實涅 十

痛風紙 十一

醋酸銅丁幾 十二

塩酸銅 十二

硝酸銅 十三

新藥百品考

上目次

初白樓藏

沃實涅澀	二十四	重複沃實涅澀	二十五
青酸澀	二十三	合鐵澀	二十四
蒲魯密烏謨澀	二十二	塩酸澀軟膏	二十三
醋酸澀	二十	蒲魯密烏謨澀	二十一
過酸呵囉酸鐵液	十九	鐵硫黃	二十
枸酸鐵	十八	硝酸鐵	十九
炭酸鐵糖	十六	硫酸鐵規尼	十七
醋酸鐵丁幾	十五	砒酸鐵	十六
麻醉膏	十五	醋酸鐵溶液	十五
樓麻質紙	十四	鐵硬膏	十四

沃實涅澀	二十七	沃實涅澀利篤亞斯	二十八
英吉利甘澀	三十	塩酸規尼澀	三十
塩酸沃實涅澀	三十	塩酸沃實涅澀	三十一
蒲魯密烏謨利篤亞斯	三十一	呵囉酸利篤亞斯	三十二
呵囉密烏謨酸利篤亞斯	三十三	複呵囉密烏謨酸利篤亞斯	三十三
青酸利篤亞斯	三十五	沃實涅澀利篤亞斯	三十七
炭室素酸利篤亞斯	以下下卷	醋酸滿俺	一
炭酸滿俺	一	磷酸滿俺	二
硫酸滿俺	二	砒酸曹達	三
次亞呵囉酸曹達液	三	呵囉酸曹達	四

斤藥百品考

上目次

二

刃白婁載

膽汁酸_達 四

次亞硫酸曹達 五

沃實謨曹達 六

尼箇質涅 七

阿芙蓉越幾斯_{去麻醉分者} 七

阿芙蓉丁幾 八

越幾斯莫爾比涅 八

箇鳩留尼謨 九

比百里涅 十

比百魯乙堙 十

塩酸白金曹達 十一

塩酸鉛 十二

沃實涅鉛 十三

硝酸鉛 十三

修酸鉛 十四

治癩散 十五

煤液 十六

再齧帝兒 十六

瀕鹼 十七

獅那葉華爾斯 十八

黑芥子亞的兒油 十八

亞的兒舍利別 十九

塩酸鐵舍利別 二十

鐵塩酸舍利別 二十

清血舍利別 二十

塩酸鐵沃實涅舍利別 二十一

莎兒莎沃實涅舍利別 二十一

發泡布 二十一

答麻林度越幾斯 二十二

莨若鎮痛膏 二十二

硝酸銀膏 二十二

芫菁膏 二十三

吐根膏 二十三

水銀莨若膏 二十三

尿素 二十四

硝酸尿素 二十四

依刺篤里涅 二十五

青酸亞鉛 二十七

沃實涅亞鉛 二十八

纈草酸亞鉛 二十九

斤藥百品考 二

上目次

三

切白藥

シ難キ者、或ハ之ヲ施ス片ハ、危險ヲ陷ルノ恐
アル者ニ、擦劑トナシ、又内用ニ供ス、

用法 甘硝石精二分ニ、此液三十滴ヲ和用ス、
或ハ、每服十滴、糖水ニ和用ス、一日二回至四回、
外用ニハ半錢ヲ脂油十六錢ニ和シ、振蕩シテ
擦劑トス、

沃實涅安質母 第四十一品

安質母ト、沃實涅同量ヲ、乾留スレハ、昇騰ノ褐赤
色ノ片トナル、水、亞爾筒兒ニ分解シ、容易ニ溶
解ス、

功能 有カノ衝動劑ナリ、排泄ナクメ、能ク固
形流動ニ體ヲ變換シ、吸收ヲ感ニス、外用スレ
ハ、劇シク衝動レテ、泡ヲ發シ、焮衝ヲ生ス、
主治 内用、慢性肺患、外用、發疹スル₁、吐酒石
ノ如シ、

用法 十六分ハノ一、軟膏一錢至二錢ヲ、
脂八錢ニ和ス、

青酸銀 第五十四品

硝酸銀ヲ青酸ニテ沉降セシムルニ成ル、白色
ナリ、外氣ニ觸テ、暗色トナル、無味、冷水ニハ溶
ケス、温湯ニハ稍溶ク、諸母尼亞幾ニハ、溶ケ易

主治 或ハ曰ク微毒ニ内服外用効ナント、或
ハ曰ク良効アリト、

用法 每服半匁、軟膏十匁至二十匁、
指八匁ニ和ス、

沃實涅銀 第五十五品

沃實涅利篤亞斯ト、硝酸銀トニ成ル、

帶黄白色、溶解セス、重キ粉末ナリ、

功能 消酸銀ト同効ナリ、腹痛、下利ヲ起サス、
之ヲ連用スルモ、皮膚ノ色ヲ變スルヲ甚ク遅
シ、

用法 每服五滴、至十五滴、三十滴、一日四回至

六回、單ニ水ヲ和用ス、含嗽劑或ハ錠トナス、

乳酸二匁糖八匁 達刺侃篤越謨漿適宜 右調和

シ、一箇毎ニ半匁ノ錠ト為ス、毎用一錠、一日二

四回、或ハ里蒙奈埵ヲ製ス、

乳酸五分至水半彬ニ溶シ、糖舍利別八匁ヲ

和ス、又磨齒丁幾磨齒散ノ配合品トス、

木醋 第十二品

木材ヲ乾餾シテ得ル所ノ液ナリ、精製木醋ハ

褐色ニシテ燒性酸臭味アリ、

功能 神經脈管ヲ衝動ス、防腐、蒸氣ヲ發シ、尿ヲ利ス、大量以上ハ衝動諸症ヲ發シ、遂ニ神經力ヲ疲衰ス、

主治 内用、失苟兜陪苦、肺勞、胃軟解、腐敗熱、水腫、下利、外用寒壞疽、痔瘡、猩紅熱、咽喉焮衝、陰囊水腫、少女ノ陰部寒壞疽性潰爛、浸淫性、惡液性、腺毒性腫瘍、又腐骨疽ノ侵蝕スルヲ防キ、頭瘡ヲ治ス、

齒痛、微毒性息肉、頑毒流涎、耳聾、

用法 每服十滴、二十滴至三十滴、縮水、吉那浸

尋常腫瘍ノ刺戟劑トナスニハ、軟膏トナシ用

ス、

用法 十分ハノ一、至六分ハノ一、一日二三四

丸トナシ用フ、失鳩茶越幾斯和シ丸トス、軟膏ハ、二ハ至四

ハヲ脂ハ莖ニ和ス、毎用大畧一莖ヲ塗擦ス、

沃實澀砒水 外氣ニ觸テ變スルヲナシ、一莖

中、砒四十八分ハノ一、沃實澀十分ハノ一ヲ含

ム、則チ八莖中、沃實澀砒一ハヲ含ム、硬結腫ニ

用フルニハ、毎用二十滴、一日二回、

沃實澀金 第七十八品

大塩酸金ヲ沃實澀刺篤亞斯ニテ沉澱セシメテ製ス、

黄緑、純金清潔ナル品ニテ新製品ハ、無臭ナレ

ル外氣ニ觸ルハ、漸徐ニ分拆シテ、沃實澀臭ヲ

放ツ、

水ニ溶ケス、水素沃實澀酸ニ溶ケ易シ、

功能、諸家試験スル所同シカラス、故ニ未タ

其詳ヲ得ス、

主治、微毒、腺毒ニ、内外施用ス、

用法、十五分ハノ一、十二分ハノ一、一日二三

回、散或ハ丸トナシ、亞刺比亞越謨ニ和用ス、軟膏、五分至十分、脂八錢ニ和ス、

塩酸金曹達 第八十品

塩酸金ト塩酸曹達トノ集合ナリ、獨逸ニテハ

佛蘭西ニテハ塩酸金ノ量ヲ多カラシム、

金十分、食塩九分ナルヘ

レ、

黄色、正角、或ハ片状ノ結晶ナリ、塩酸金多ケレ

ハ融解ス、

製法、金一錢、塩酸三錢、硝酸一錢、能ク溶化ス

ルニ及テ、磁盂ニ内シ、煮テ水氣ヲ蒸散シ、舍利

別ノ稠トナレ、之ヲ放冷スレハ、固塩トナル、之
 ニ水八錢ヲ和シ、濾過シ、別ニ塩酸曹達百斤、蒸
 餾水八錢ノ溶劑ヲ濾過シタル者ト混和ス、而
 ノ之ヲ文火ニ上セ、乾固スルニ至ルマテ、煮テ
 水氣ヲ蒸散シ、殘遺ノ者ヲ細研シテ、硝子鏝ニ
 入レ、固封シ貯フ、
 黄色ノ粉末ナリ外氣ニ觸レテ濕潤シ、水ニハ
 全ク溶解ス、
 功能 塩酸金ニ同シ、稍緩ナリ、他ノ金製諸劑
 ノ如ク、髮毛ヲ褐黑色ナラシム、其溶解シ易キ

ヲ以テ、使用ニ便ナリ、
 主治 徽毒、經久ノ者ヨリハ、腺毒、又掌丸腫、依
 刺昆堙兒諸症、就中其下腹諸症、陰部衰弱ヲ兼
 ル者、消化機衰弱、營養減少、諸筋衰弱、勞瘵、下利、
 用法 佛蘭西醫家ハ、多ク舌上塗擦劑トス、或
 ハ曰ク此劑ノ功否ハ、地方ニ關係シテ、同ナ
 ラス、又内用及ヒ舌上塗擦ノ量ハ、其製法ノ異
 ナルニ隨テ、一ナラス、一日五十分分ノ一、至四
 分分ノ三、バテニテハ十六分分ノ一、普魯社、
 早堡、サクセン、ハノール、スレー、
 左ノキ候部ニテハ、十二分分ノ一、ハスレセニ
 テハ、四分分ノ一、オーステンレーキニテハ、四

新編醫書考
初集

氏至五、水ニ溶、錠、舍利別、十分、軟膏、脂、一、
カ、又九トナス、和ス、
二、
和ス、

硝酸金液 第八十一品

塩酸金六、硝酸八、ニ溶カスナリ、
新近創見ノ腐蝕液ナリ、癌性諸患ニ用フ、但シ
之ヲ施スニハ、勉テ近傍部ニ觸サラシムヘシ、
則チ預メノ一片ノ海綿、或ハ布片ヲ貼シテ、其邊
蔓スルヲ防クヘシ、此液ヲ患部ニ接スルニ、長
短時ヲ異ニスルヲ以テ、鉤ニ挿ミタル綿撒絲
或ハ筆ニテ貼シ、宜ニ應シテ緩急スヘシ、其部

白色、或ハ灰白ノ厚痂ヲ結ヒ、三四日ニノ落加
ス、復タ此ノ如クスルヲ七回以上ニ至ル、但シ
患部ノ大小深淺ニ適フヘシ、其功速カナレハ、
之ヲ附スルヲ二回、已ニ硬結蔓延スルヲナシ、
之カ為ニ發スルノ疼痛意トスルニ足ラス、或
ハ劇甚ナルモ、鎮定スルニ難カラス、宜ク阿美
蓉丁幾ヲ浸セル綿撒絲ヲ貼スヘシ、
強性金液方、純金箔細割者、塩酸二十二度者
硝酸三十二度者、石混合溶化シ、或ハ之ヲ單用
シ、或ハ宜ニ應シテ蒸餾水三分ノ一ヲ和シ稀

新編醫書考 二
七
切白葉裁

ノ用フ、之ヲ健全ノ部、又粘液膜ニ貼スルニ、死
 ント疼痛ヲ發セス、之ヲ施ス日數回ナルモ、其
 實質ヲ損スルコトナシ、然ルニ創傷アル部、又ハ
 患所ニ貼スレハ、疼痛甚シク、其疾患愈大ナル
 者ハ、疼痛愈感ナリ抑モ此腐藥ハ、患部ニハ蜜
 透スレハ、健全無害ノ部ヲ傷ルコトナシ、其質ヲ
 損セス、却テ之ヲ改正ス、惡性腫瘍、虛性腫瘍、
 其原微毒腺毒ナル者、或ハ腺病愈後、醜痕ヲ遺ス者、又寒
 壞疽、癌性瘡ノ膿潰スル者、子宮頸癌、又矢苟兒
 陪苦性腫瘍、微毒性贅肉ニ外附ス、

凍瘡膏 第八十四品

龍腦二錢 安息香丁幾七錢 二溶シ、沃度剝篤亞
 斯一錢 鉛醋八錢 右震掉混和シ、更ニ薔薇水、亞
 爾箇兒二十度者ノ合劑十六ヲ和シ、又別ニ右驗八
 薔薇水、亞爾箇兒合劑十六ニテ溶和シ、稍温メ、
 此兩液ヲ混シ、而シテ芳香香油二三ヲ點シ、之ヲ潤
 口蠟ニ入レ、木栓ニテ密封シ貯フ、
 凍瘡ニ塗擦スルヲ、一日二回、

沃實澀水素酸重七 第八十五品
 重上ヲ水素沃實澀酸ニテ溶解シ、或ハ沃實澀

新編 藥品考 第九十二品

鉄ヲ重土ニテ分拆シ製スル者ノニ、薬用ニ供スヘシ、

白色ニ薄キ針狀ナリ、外氣ニ觸テ融解シ、外氣ノ炭酸ニ由テ、容易ニ分拆シテ、帶褐色トナリ、不佳催嘔ノ味アリ、水ニ溶ケ易シ、

大毒アリ、微量ナルモ、強カノ溶崩性アリ、局部ニ施スニ、刺戟解凝シ、人身ニ入テ、速カニ分拆ス、

一日二三回、八分ルノ一、漸ク進テ一ルニ至ル、
餹水ニ和スルヲ佳トス、軟膏十五分、
脂四分

纈草酸毘斯密篤 第九十二品

硝酸毘斯密篤溶液ニ、纈草酸曹達ヲ和シ、其沉

澱ヲ水ニテ洗淨シ、少許ノ纈草酸ヲ加ヘ文火

ニテ乾カスナリ、

白色ノ粉末ナリ、水ニ溶ケ易シ、

功能 收斂、爽神

主治 腸胃症、慢性腸胃病、諸種ノ神經衰弱、慢性、神經性心悸動

用法 每服半ル、至二ル、一日四回、丸或ハ散ト

ナス、

蒲留失涅 第九十五品

凡ソ斯篤里規尼現存スル所ノ植物中ニ得ハ
キ亞爾加里猛ナリ、恐ラクハ斯篤里規尼ノ一
規尼ト、黃色ノ華ハ斯性、變スル者カ、若クハ斯篤里
色分トノ混合ナルヘシ、安僞斯點刺、假皮中ニ
大量ニ在リ、

斯篤里規尼亞爾箇兒浸劑ノ母酒ヲ、蓆酸ニテ
沉澱セシメ、又麻僞涅失亞ニテ分拆シ得ルナ
リ、新製ノ者ハ、無色、經日ノ者ハ白色、多クハ四
角柱狀ノ結晶ナリ、

水ニ溶ク難シ、亞的兒、脂油ニハ全ク溶ケス、亞

爾箇兒、亞的兒性油、酸類ニハ溶ケ易シ、

功能、斯篤里規ニ同シ、但シ或ハ曰ク、其力

劣弱ナルヲ六分一、若クハ十二分一ナリト、或

ハ曰ク其功確實ナリト、

主治、斯篤里規ニ用スヘキ諸症ニ用ル、殊

ニ鉛毒ニ由ル麻酔、卒中、不遂ニ効アリ、

用法、四分ハノ一、至半ハ、漸ク進テ五分ニ至

ル、丸トナス、或ハ稀亞爾箇兒ニ溶和ス、

沃實涅加爾基 第九十二品

沃實涅鎳溶液ヲ、新煖加爾基ニテ沉澱セシメ、

或ハ加爾基溶液ヲ沃實澀水素酸中ニ和シ、瀝
水ニテ水氣ヲ蒸散セシム、

白色融化ニ易キ塩ニメ苦味アリ、水ニ溶ケ易

シ、
功能 解凝、微收斂、
主治 腺病、殊ニ腫起、外用シテ腺腫ヲ分解ス、

用法 半匁至二匁、一日二三回、軟膏一匁至二匁、
炭酸沃實澀 第一百十三品

沃實澀丁幾ト、警典埵曹達、警典埵利篤亞斯ト

ヲ和シ、重炭酸曹達、分解セル沃實澀利篤亞斯

ヲ瀘過シ、水氣ヲ蒸散スルナリ、

黄色ノ結晶ナリ、芳香洵美蘭様ノ香氣アリ、

水、酸類、亞爾加里ニ溶ケサレ、亞爾箇兒、亞的

兒ニ溶ク、溶液ニハ甘味アリ、

功能 衝動、解凝、通經、可ニ疑之ヲ用フルニ數匁ナ

レハ、既ニ胃ヲ刺戟スルニ甚タシク、搐搦ヲ發

シテ斃ル、

主治 腺病諸患、頸腫、經閉、癌腫ニ用フ、外用シ

テ腺腫、癩病、環癬ニ効アリ、
用法 一日一匁、漸ク増シテ六匁ニ至ル、丸或

ハ錠トナス、軟膏半錢ヲ、單膏六錢ニ和ス、

炭酸沃實澀散方、炭酸沃實澀、苗香、華尼

兒列各一錢、糖八錢、調和、咽喉腺腫ニ用テ、每服十

五匹、一日三四回、骨喜匙ニテ、口内後部ニ輸送シ

服スヘシ、

痛風紙、第百二十六品

英吉利ニテ販ク所、其方數様アリ、

龍骨木脂一錢、羌菁六錢、亞爾箇兒四十、右浸出

瀝過シ、越謨漿十六、帝列并底那十二、ヲ和シ、塗

劑トナス、

又方、羌菁末四錢、剝屈福烏篤脂二十、凡爾拔

奴謨六錢、亞爾箇兒四、ニ和シ、瀝過シ、越謨漿

二十、帝列并底那一、調和塗料トナス、之ヲ無

膠紙ニ塗上スルコト數回、

痛風紙ノ功ハ、尋常諸膏ト同シク、許多ノ疾患、

殊ニ儂麻質、聖京候諸患ニ施用シテ、誘導劑ト

ナス、是レ能ク皮上ニ附着シ、且ツ衣中ヲ汚サ

サルヲ以テ、最モ宜シトス、尋常賣藥トスル痛

風紙ハ、其製粗ニメ、其力峻ナラス、

醋酸銅丁幾、第百七十五品

純精醋酸銅 二十 醋酸鉛 三十 右混和研合、流

動性ノ藥トナレ、蒸餾水 百三十 ヲ注キ、銅 五 =

入レ、煮沸ス、其冷ユルニ及テ、鏡似亞爾箇兒 四

ヲ和レ、四週間放冷シ、屢振掉シ瀘過ス、

中銅毒症ニ用フ、

用法 一日一錢半至三錢、

醋酸銅丁幾 十二 達刺侃篤越謨 一 或ハ亞刺

桂水 八 蒸餾水 五十 右調和、每一時一匙ヲ與

ス、

塩酸銅 第一百七十六品

酸化銅ヲ塩酸ニ溶レ、暗綠溶液ヲ蒸散シテ、結

晶セシム、

寶石綠色ノ針狀ナリ、無臭、不佳ノ鑛味アリ、外

氣ニ觸テ融解ス、

水、及ヒ亞爾箇兒ニ溶ケ易シ、

功能 收斂、強壯、排泄、分泌ヲ增加シ、腹部神經

ノ遲鈍變調ヲ復ス、

主治 往時既ニ腺病、尙僕病、水腫、皮病ニ用フ、

近世微毒、又凡ソ惡液諸病、又之ヨリ發スル神

經病ニ賞用ス、

用法 每服十二分の一、八分の一、四分の一、

丁幾劑 每服五滴至十滴、又塩酸銅ヲ硫黄亞的兒ニ溶カス者、亦同シ、

硝酸銅 第一百七十七品

銅ヲ硝酸ニ溶和シ、水氣ヲ蒸散シテ、結晶セシム、

青色ノ針狀ナリ、極テ腐蝕ス、外氣ニ觸テ、融解ス、水、及ヒ亞爾箇兒ニ溶和ス、

功能 丹礬ニ同シ、外用腐蝕劑トス、

主治

微毒

濃厚液ハ、海綿狀癌腫ニ塗擦シ、稀薄液ハ、淋疾、慢性白帶下ニ注入ス、

用法 八分の一、九トナス、粘滑液ニ和用ス

ルヲ勝レリトス、

樓麻質紙

第九十五品

越謨諸母尼亞幾

六十、四十、二、三十、猪脂、黄

蠟 各八

右合セテ溶化シ、少許ノ牛酪ヲ和シ、搾リ瀝ス、

之ヲ溶解シテ、其九分ニ、吐酒石一分ヲ和シ、瀾

キ軟ナル刷毛ニテ、微膠ノ薄紙ニ攤シ、温所ニ

テ塗ル、

頑固ノ癩麻質ノミナラス、總テ皮膚ヲ刺戟シ、誘導セントスル者ニ用フ、之ヲ貼スル部ハ灼痛ヲ發シ小疹ヲ生ス、但シ此疹復々速カニ消滅ス、膏ハ自ラ剝離スルニ至ル、

鏡硬膏 第百九十九品

純精硬加爾基鹼ヲ、沸湯ニ溶化シ、冷ユルニ及テ、冷水ヲ和シ、酸化鎂溶液ヲ注キ、之ヲ煮テ、少シモ水氣殘ラサレニ至ル、凡ソ鎂劑ノ強壯力ヲ要スル諸症ニ用フ、殊ニ虛性腫瘍、灰白弛緩ノ新肉ヲ生スル者ニ良効アリ、

炭酸鎂硬膏 前方^{四十}八^錢 銀密陀^{十四}錢 瓦爾拔奴^錢

謨^{二錢} 右溶化調勻ス、

麻醉膏 第二百一品

菲沃斯越幾斯、莖若越幾斯、夫鳩答越幾斯、^{各等分}常膠或ハ魚膠漿ヲ和シ、絹布ニ攤ス、

醋酸鎂溶液 第百十品

流動醋酸鎂^{三分} 水^{十二分}ノ集合ナリ、

緩性强壯收斂ニシテ、砒及ヒ砒酸ノ消毒劑トス、癌腫ニ外用シテ、分解ノ功アリ、

用法 二十滴至三十滴、消毒ニハ水ヲ和シ大
量ニ服スヘシ、蒸劑、注入劑ニハ水六分、十二分
ヲ和シ、稀クスヘシ、

醋酸鉄丁幾 第二百十一品

純精硫酸酸化鉄 二十 醋酸銅 二十 共ニ鐵白ニ
入レ研和シ、糜狀トナルニ至ル、而ノ蒸餾水 四十
八 酒醋 上 好者、百 ヲ 注キ、鉄罐ニテ煮、冷ユルニ
及テ、更ニ銳烈亞爾箇兒 八十 ヲ 和ス、之ヲ密閉
セル硝子罍ニ入レ、放静スルヲ二三月、時々之
ヲ振掉シ、此液極テ紅色トナラサル前ハ、瀘ス

一勿レ、

此丁幾、殊ニ久ヲ經ル者ハ、快美ノ香味アリ、

用法 每服三十滴、至六十滴、一日四回至八回、

水ニ和シ用フ、

丁幾 八 水 五十 亞刺比亞越謨 八 又達刺侃
六 篤越謨 一 日

每一時一食匙、

砒酸鉄 第二百十三品

塩酸鉄液ヲ砒酸諸母尼亞幾ニテ沉澱セシム

ルナリ、

帶青綠、少シク水ニ溶ク、

功能 凡テ硫酸ニ同シ、少ナシ然レ他ノ硫

製劑ヨリハ峻カナリ、腐蝕ス、

主治 癌腫、及ヒ癩病ニ用ス、外用癌腫、頑癬、結

節癩、疥癬、慢性汗疹、頭瘡、

分量 十六分ハノ一至十二分ハノ一、多クハ

丸トナス、外用ニハ一刃至半錢、脂四錢至八錢、

調和ス、

炭酸鎂糖 第二百十五品

新ニ沉澱セル炭酸鎂ニ、半量ノ糖ヲ和スルナ

リ、之ニ由テ復タ酸化スルコトナク、炭酸モ離散

スルコトナシ、然レ此製劑ハ、決シテ醫藥ニ供

スルニ可ナルカ如ク、全ク變セサル者ニ非ス、

諸氏變化セサル炭酸鎂ヲ得ンカ為ニ、草思ス

レ此未タ其意ヲ達スルコトヲ得ス、

灰白、或ハ暗褐、阿利機ノ如シ、

水ニ溶化セス、

シタルナリ、此溶液十二莖至十六莖ヲ、麥酒一
罇ニ和ス、久シク貯フヘシ、

白色炭酸鎂 鎂赫篤里沃兒ヲ、曹達ニテ沉澱

セシメ、之ニ炭酸ヲ飽和セシメ、水ヲ注キ、捷手

ニ丸、又錠ニ作り、之ヲ密封シ貯フ、

帶綠白色、無臭無味ナリ、

峻力強壯ノ鎂劑ナリ、每服一匁半至二匁、

硫酸鎂規尼 第二百十六品

硫酸規尼溶液ト、硫酸鎂溶液トヲ合シ、蒸ニ蒸

散セシメ、此合液ヲ硝子罇ニ入レ固封セス、

放靜スルヲ數月、

細小齊整無色ノ結晶ナリ、極テ苦味ナリ、

水ニ溶化セス、

此製劑ハ、溶化シ難キヲ以テ大ニ保固強壯、收

斂ノ功ヲ要スル諸症ニハ、枸酸鎂規尼ヲ優レ

リトス、

用法 一匁至四匁、一日二三回、散或ハ丸トス、

枸酸鎂 第二百十七品

新沉澱酸化鎂溶液ヲ、適宜量ノ枸酸ニ和シ、綿

密ニ蒸散セシメ製ス、

褐黃色 華爾斯質或ハ榴紅色鱗屑ナリ、其味弱

後微甘ニメ 鉄氣アリ、

水ニ溶ケ易ク、亞爾商兒ニハ僅ニ溶ク、

性緩ニメ消化シ易ク、諸鉄製劑中最モ不佳ノ

味少ク、有カノ品ナリ、

用法 每服二氏六氏至十氏、散或ハ丸トナス、

錠或ハ舍利別ヲ最モ佳トス、又里昂奈埜ヲ造

ルヘシ、

枸酸鉄水 枸酸鉄五氏 炭酸水二十石溶化ス、

其力緩ニメ、水脈速カニ之ヲ吸收レ、胃ヲ勞ス

ルコナク、閉塞ヲ起スコナシ、而シテ鉄味ナキ也

如シ、

硝酸鉄 第二百二十三品

鉄ヲ温硝酸ニ溶和シ、赤褐色ノ液ヲ得、又鋭烈

硝酸ヲ久シク鉄ニ注キ置ケバ、黑色四方柱狀

或ハ線狀ノ結晶ヲ得、外氣ニ觸テ、赤褐色ノ液

トナル、

硝酸鉄液 鉄屑ヲ硝酸ニ溶カシ、水ヲ和シ稀

ナルナリ、帶黒 赤色

功能 強壯、收斂、塩酸鉄ト同シ、

直ナニ集合セシムルニ由テ成ル、

白色結晶光彩アリ、收斂スル鑛味アリ、

水ニ溶ケ難ク、亞爾箇兒、亞的兒ニ溶ケ易シ、

功能 腐蝕毒アリ、昇瀕ニ同シ、大ニ皮膚、腎ノ

機能ヲ奮起スレトシ、流涎ヲ起スル少ナク、又胃

腸、胸部ヲ害スルヲ少ナシ、其量半匁、一匁ハ、二

三四ノ下利ヲ起ス、微々腹痛ス、大量ニテハ、中

毒諸症ヲ發ス、

主治 微毒、頑固ノ皮疹、環癬、頭瘡ニ、内外施用

ス、

用法 昇瀕ノ如シ、毎服二十六分匁ノ一、十六

分匁ノ一、漸ク増進ス、大畧 〇九トナシ、又水

劑トナス、一匁ノ水十六滴ニ和シ、又亞的兒ニ

和ス、一匁ヲ硫黃亞的兒一匁ニ和シ、又亞爾箇

兒ニ和ス、外用ハ上ニ記スル水劑ヲ用フ、

塩酸瀕軟膏 第二百五十七品

塩酸瀕沃實澀一分ヲ、猪脂百分、至百五十分ニ

混和ス、

乳房腫瘍、腺病、癌性諸患ニ賞用ス、

分量 毎用十五匁、塗擦スルヲ一日二回、

青酸頰 第二百五十八品

青酸ト酸化頰トノ集合ニテ製ス、或ハ酸化頰
ヲ洋靛ニテ分析シ、又青酸剝篤亞斯ト、硫酸頰
トヲ煮テ製ス、

結晶、外氣ニ觸テ變セス、

亞爾箇兒ニハ極テ溶ケ難ク、水ニハ溶ケ易シ、

功用 稍刺戟ス、或ハ曰ク緩性ナリ、腸及ヒ列

印巴系ヲ刺戟スルヲ他ノ頰劑ヨリハ微ナリ

ト、然レヒ之ヲ非スルノ説、亦少ナカラス、或ハ

曰ク大毒アリ、胸部壓迫ヲ起ス、始ノ脊椎、及ヒ

脊髓神經ヲ衝動シ、次テ麻痺セシム、輕量ヲ連
用久服スレハ流涎ス、

主治 原發續發微毒、就中骨痛、頭痛、肝硬結ヲ

消散シ、腹部焮衝ヲ除去ス、慢性微毒皮膚病、漆疹、

汗疹、鱗屑狀疹ニ、内外施用ス、腺病結膜腫ニハ、

軟膏トナス、腺病患者、眼臉潰爛ノ者ニモ用フ、

小兒頭水ニ、青酸頰二三ヲ脂ニ和シ、軟膏トナ

シ塗擦シテ功アリ、但シ諸家試驗
未タ一定セズ、

用法 十六分ハ、一、至半ハ、一日二回、水ニ和

シ、或ハ丸トナス、又注入法、含嗽劑トス、喉頭微
毒腫

蒸漏劑 三氏至六氏 餾水 三十二 溶和ス、軟膏 十氏至十

五氏、脂ハ 蒸調和ス、

含鉄瀉 第二百五十九品

生瀉ヲ研磨シ製ス、灰黑色ノ粉末ナリ、

腺病諸患、全身衰弱、感覺鋭敏、乏血ノ人ニ用フ、

又外用トスレハ、有力ノ分解劑ナリ、殊ニ便毒

ニ用フ、

分量 五氏至十氏、一日二三回、

沃實瀉 第二百六十品

生瀉ヲ亞爾箇兒ニテ濕シ、沃實瀉ニ研和ス、其

他製法數種アリ、

帶綠黄色、無臭、無味ノ粉末ナリ、脂、卵白ニ和ス

レハ、忽チ變シテ、重複沃實瀉トナル

水、亞爾箇兒ニハ溶ケス、亞的兒、又沃度利篤亞

斯溶劑ニハ溶和ス、

功能 製法同シカラサルヲ以テ、功力亦少異

アリ、沃實瀉ノ、猛力ノ解凝劑ナリ、局所ニ用フ

レハ、刺戟シ、内服稍多量ナレハ、胃腸嫩衝ヲ發

ス、緩性ノ瀉カアリテ、沃實瀉之ヲ助ケルナリ、

流涎スルヲ少ナク、又之ヲ連用スルモ、他ノ瀉

劑ノ如ク、虚脱セシムルヲ甚シカラズ、

主治 微毒、殊ニ續發症、又腺病ヲ合併スル者、
腺毒、微毒潰爛性腫瘍ニ外用軟膏トス、腺毒性
慢性腫瘍、肝藏閉塞、列印巴腫、關節水腫、慢性惡
液性皮膚病、疥癬、頑癬、印度痘ニ、内外施用ス、又神
經痛、顔面痛ニ、軟膏トシ用フ、

用法 四分ハノ一、半ハ、一日二三回、散或ハ丸

トナス、洋萬世、阿芙蓉、朴屈福烏篤 軟膏一刃至三刃、脂

調和ス、

重複沃實澀瀉 第二百六十一品

昇瀉ノ沃實澀瀉、利篤亞斯ニテ分拆シ、或ハ瀉ト
沃實澀トテ、少許ノ亞爾箇兒ニテ研和ス、瀉一
容沃
實澀瀉程々緋紅ナリ、
水ニ溶ケス、亞爾箇兒温者沃度利篤亞斯ニ能
ク溶ク、

功能 局部ニ用ヒテ有力ノ刺戟品ナリ、或ハ
腐蝕ノ功アリ、皮上ニ塗入スルニ半莖ヲ脂ハ
莖ニ和スル者ハ、一種ノ疹ヲ發ス、前品ヨリハ
解疑ノ功更ニ強シ、其比例恰モ昇瀉ト加魯度
兒トノ如シ、沃實澀劑中ノ猛力品ナリ、嘔吐ヲ

發シ易シ

主治 前品ノ如シ但シ其刺戟甚シキカ故ニ
内用スルコト少ナリ、微毒、腺毒、殊ニ兩病合併ノ
者、慢性皮膚病、頭瘡、頑癬、腺腫、腫瘍、微毒、腺病、癌腫
瘰癧、腱結節、眼瞼粟粒疹、急性炎症退クノ後、癩
麻質症、慢性痛風、粘液囊水腫、癩麻質愈後、關節
靭帶拘急、癩麻質膝痛、慢性皮膚病、腺毒骨痛、角膜
翳、點眼瞼、耳腺癬、性嫩衝、腺腫脹、眼圍青暈、又
神經痛ニ外用ス、次ノ軟膏効アリ、
方 複沃度瀉 二ル 脂 二ル 之ヲ塗擦スルコト一

日一回、汗疹、又夏日斑ニモ用フ、

用法 每服十六分ルノ一、十二分ルノ一、八分

ルノ一、亞爾菌兒、亞的兒ニ溶化シ、適宜ニ稀メ

用フ、一日二回、至四回、空心ニ服スル勿クハ、外用ハ軟膏十

二十ル以上ヲ、脂八ルニ和ス、眼膏一ルヲ、阿芙蓉膏二ルヲ、

複沃實瀉瀉舍利別 複沃實瀉瀉 一分 沃度瀉

瀉亞斯五分水五分尋常糖舍利別千四石調勻、

一日一二食匙、

沃實瀉塩酸瀉 第二百六十二品

沃實瀉 一容 加魯茂兒 四容 或ハ沃實瀉 四容 加

魯茂兒 二 容ニ成ル、則チ加魯茂兒粗末ヲ、列篤爾篤ニ入レ、徐クニ焚燒炎熱シ、加魯茂兒昇騰スルニ至テ、沃實涅ノ少許宛加フ、

鮮紅色ノ結晶塩ナリ殆ント溶ケス、

功能 強刺戟品ナリ、疼痛赤色發泡腐蝕峻力ノ解凝

衝動ナリ、諸分泌ヲ催進ス、單ニ外敷スルモ、烈

シク刺衝ス、

主治 是レ近世偶然發明スル所ノ製劑ナリ、

則チ佛蘭西ニテハ、久シク秘方トナシ、腺ノ頑

固硬結、皮病ニ、外用シテ、大ニ其功ヲ賞ス、又之

ヲ内用ニセ供セリ、腺病、微毒、局部又全身ニ功

アリ、全身ノ功ヲ要スルニハ、腋下腺、膝腺、

内部脊、胸部等ニ、交替シ塗擦スヘシ、腺腫

腺毒、眼焮衝、凡ソ劇性經久遺毒腺病ニハ、全身

ノ體格ヲ一變シ、全身諸器、殊ニ皮膚ノ機能ヲ

一新シ、滋養及ヒ同化ヲ進メ、大ニ解凝ス、

用法 内用ハ十六分ルノ一、至八分ルノ一、一

日一回、

方 沃實涅塩酸頰 五ル 亞刺比亞越謨 十六白

蒸餅心 二錢 橙花水 適宜 右丸百粒トナス、

外用ハ、沃實涅塩酸頰 一分 脂二十分 軟膏トス、

腺腫ニ賞用スル一方アリ、

方 沃實涅塩酸頰^{十五}、脂^{十六}、右極テ薄ク腫

瘍上ニ塗り、功ヲ見レハ、直チニ之ヲ止ム、大抵

三日間、毎日藜豆大ヲ取り塗入ス、而シテ、八日、十

四日ヲ隔テ、再施ス、兼テ攝生ヲ嚴節シ、鐵劑、苦

味劑、下劑等ヲ用ヒテ、以テ藥力ヲ助ク、

沃度頰剝篤亞斯^{第二百六十三品}

沃度頰ト剝篤亞ストノ合劑ナリ、

生頰ト、沃實涅ニ、少許ノ亞爾箇兒ヲ和シ、研磨

シ、更ニ沃度剝篤亞スヲ和シ、温湯ニテ溶化シ、

瀘過シテ放静シ、自然ニ水氣ヲ飛散セシム、此

ノ如クニノ得ル所ノ結晶ハ、針狀ナリ、濕氣ニ

遇ハ、融解ス、但シ醫藥ニ供スルニハ、後方ヲ佳

トス、方 沃度頰^{十八}、沃度剝篤亞スヲ、蒸餾水

^{四十}ニ溶化ス、

功能 此劑ハ、沃實涅頰ノ功アリテ、後害ナシ、

流涎、骨痛、之ヲ連服スレハ、或ハ吐涎スルコト

ヲ起サス、他ノ頰劑ニ於ケルカ如ク、頑固ナラス、但

シ口内疾患、及ヒ胃腸不和ヲ發スルコト少ナカ

ラス、

主治 驅穢ノ峻藥ナリ、經久微毒、腺毒諸症、結節肺勞、慢性喘息、癆咳、皮水腫、腹水、皮膚病、胃病、胃癰、慢性腸胃病、脾患、白帶下ヲ治シ、又通經劑トナル、外用レテ腺腫ヲ治ス、

用法 廿二分ハノ一、八分ハノ一、一日二三回

水ニ和シ、或ハ丸トナス、亞刺比亞慈謀、蜂蜜ヲ和シ、丸トナス。

沃度頰ト利篤亞斯トノ配合ノ量ハ、宜ニ應シテ之ヲ定ムヘシ、此劑預メ製シ貯フルコトナク、

用ニ臨ミ之ヲ製シ、四時毎ニ一糖匙ヲ用フ、

軟膏 半刃至一刃、脂ハ幾調和。

舍利別 沃度頰一分ノ比例、 一食匙中、沃度頰

篤亞斯 八分 沃度頰 七分 ヲ含ム、一日一二食匙

英吉利加魯茂兒 第二百六十四品

加魯茂兒製劑ニテ、極テ細微ナル粉末ナリ、則

チ加魯茂兒製造ノ時ニ、昇騰スル蒸氣ヲ、炎熱

セル水蒸氣ニテ誘導スルナリ、或ハ冷氣ノ流通ニテ製ス、

外用ニ供ス、例之眼中ニ吹入シ、或ハ細キ筆ニ

チ眼中ニ入ル、慢性惡性眼嫩衝、腺毒ニ原 眼臉

水腫等、又汚穢ノ腫瘍ニ撒ス、

塩酸規尼涅頰 第二百六十五品

塩酸規尼溶液ト、塩酸頰溶液トノ混合ニ成ル

結晶ナリ、白色水ニ溶ケ難シ、

微毒悪液ニ良効アリ、流涎レ易シ、

用法 毎服八分ハノ一、四分ハノ一、一氏、一日

二三回、少許ノ阿芙蓉ヲ和シ、丸トナス、

塩酸沃實涅 第二百七十六品

火熱ヲ以テ、塩酸ト沃實涅トヲ親和セシムル

ナリ、集合二種アリ、

甲 沃實涅多キ者、流動褐色、塩酸ト沃實涅トノ不佳臭氣アリ、

乙 塩酸多キ者、堅硬黄色

二種、水ニ和スレハ、共ニ褐色ナリ、

虚性眼焮衝ニ蒸氣トナシ施用ス、之ヲ行フ

五分時ナレハ、腫子縮小シテ流涙ス、

塩酸沃實涅頰 第二百七十七品

沃實涅頰ト塩酸トヲ亞的兒ニテ溶和シ水氣

ヲ蒸散スルナリ、

帶赤黄色ノ粉末ナリ、

功能 有力ノ頰劑ニシテ、單ニ各箇成分ヲ用フ

ルヨリハ優レリ、

主治 腺病、癌樣諸症、乳癌ヲ消散ス、

用法 軟膏三々、脂四、每用大畧十五氏ヲ塗擦

ス、一日二回、

蒲魯密烏謨利篤亞斯 第二百八十四品

炭酸利篤亞斯ヲ、蒲魯密烏謨水素酸ニ飽和セ

シメ、鐵蒲魯密烏謨溶液ニテ、之ヲ分拆スルナ

リ、

白色骰子狀、外氣ニ觸テ變セシメ、酷厲塩樣後ニ

清涼ノ味アリ、鑛酸、塩酸ニハ、容易ニ分解ス、

水ニ溶ケ易ク、亞爾箇兒ニハ、溶ケ難シ、

功能 解凝衝動發汗、利尿、蒲魯密烏謨ニ同シ

但シ緩ニメ、沃實涅利篤亞斯、又塩酸利篤亞斯

ニ似タリ、一錢以上ヲ用フレハ、胃腸ヲ刺戟ス

ルヲ甚シク、微量ナルモ食機ヲ減少ス、腺系ノ

機能ヲ亢起シ、尿通ヲ增多ス、其尿ヲ檢スルニ、

藥分ノ存スルヲ見ル、大便水瀉頻數、或ハ糖滑

ス、多クハ、多量ナレハ、腦患ヲ誘起スルヲ、麻酔

品ノ如シ、

腺病、腫瘍、硬結ニ内外施用ス、脾腫、肝閉塞、味ニ

之ニ續發スル腹腔内滲出、水腫、粘液膜肥厚、慢

性淋、慢性皮膚疹、表皮角樣變性、微毒、沃度刺萬亞斯ノ代用ト
ナス、角膜昏暗、五ルヲ蒸餾水四錢ニ和シ、毎日一二滴、眼中ニ点ス、又内用ニ供ス、

用法 四ル至八ル、一日夜水ニ溶カシ、丸或ハ

散トナス、軟膏十五ル、脂ニ錢至三錢、調和ス、

呵囉酸刺萬亞斯 第二百八十五品

白色珊瑚光アル片狀、又柱狀結晶ナリ、不佳清

涼、硝石ノ如キ味アリ、

冷水十六分沸湯二分八十度ノ冷亞爾箇兒十二分

ニ溶化ス、

功能 解凝、消焮、其功硝石ト礮砂トノ中間ナ

リ、脈動ヲ減少スルヲ、硝石ノ如クナレモ、其力

留連持久セス、又胃ヲ害セス、舌及ヒ胃ヲ清潔

ニスル功アリテ、礮砂ニ異ナリ、食機ヲ進メ、咯

痰ヲ促カス、粘液膜分泌ヲ改正シ、又能ク神經

機能ヲ鎮静ス、

主治 往時ハ、腺病、微毒、黃疽、肺勞等ニ賞用ス、

レモ、近世其非ヲ知り、而シテ創傷、創熱、凡ソ創後

熱症、咽喉焮衝、儀膜咽喉焮衝、又顔面痛、頑固神

經性、痺麻質、痛風ニ賞用ス、又模屈莎ニ造リ用

フ、綿フ此塩ノ溶水ニ浸シ乾カレ、大小適意ノ柱状トナシ用フ、

用法 一日半匁、溶劑ヲ最佳トス、

呵囉密烏謨酸利篤亞斯 第二百八十六品

橙黄色、六面柱状ニシテ、苦ク、殆ント、收斂スルノ

味アリ、

呵囉密烏謨酸利篤亞スト、炭酸利篤亞ストノ

飽合ニ成ル、

水ニ溶ケ易ク、亞爾箇兒ニハ溶ケス、

功能 解疑、衝動、收斂、催吐、腐蝕、功用總テ吐酒

石ニ同フシテ緩ナリ、其量二匁至四匁ハ、吐ヲ

發シ大量ニテハ下利、腹痛、或ハ腸胃疾患ノ發

ス、

主治 内用スルハ、衝動催嘔、其量吐酒石又下

利ヲ發スル少ナシ、聖京低諸患ニ用フ、呵囉密

利篤亞斯二匁ヲ水六十四匁ニ溶カシ、甘草膏

一匁、半連担謨一匁、毎二時ニ一食匙ヲ服ス、

此品能ク聖京低性癩衝ヲ分解シ、蒸氣ヲ催送

シ、咯痰ヲ輕易ニシ、咳嗽ヲ鎮定ス、之ヲ外用ス

レハ、解疑ノ功アリ、帶狀羅斯、疹狀、痲質、眼癩

衝ヲ消散ス、呵囉密烏謨酸利篤亞斯一分ヲ水

一二回、一日、糾髮、頭瘡、血斑ヲ治ス、又腐藥トスレ

ハ海綿腫、息肉、母斑ヲ除ク、又模屈莎ヲ製ス
 呵囉密烏謨酸、刺篤亞斯^三、餽水^{十六}ニ溶化シ
 之ニ紙片ヲ浸シ、此紙片ヲ乾カシ、捻テ卷テ柱
 状トナシ、用ニ臨テ、亞刺比亞越謨ニテ、適好ノ
 部ニ貼ス、之ヲ吹カサルモ、能ク燒ケテ、火熱ヲ
 起スナリ、
 用法 小兒ニハ、一日四分ハノ一、至半ハ、例之
 三ハヲ、水十六莖ニ和シ、毎十分時、一食匙ヲ用
 ヒ、功ヲ得ルニ至ル、或ハ其半量ヲ頓服ス、
 外用ハ、半莖至一莖、水八莖ニ和用ス、或ハ末ト

ナレ用フ、
 復呵囉密烏謨酸、刺篤亞斯^品 第二百八十七品
 呵囉密烏謨、銹石末、硝石ト共ニ燒キ、其灰塩ノ
 冷ユルニ及テ、硝酸ニテ飽和シ、底面ニ沉メル
 塩末ヲ、更ニ結晶セシムルナリ、
 火紅色、四面柱、及ヒ片狀結晶ナリ、清涼ニシテ、
 苦キ鑛味アリ、
 温湯ニハ溶ケ易ク、冷水^{十分}ニ溶ク、亞爾箇兒ニ
 ハ溶ケス、
 功能 内外施用シテ、有力ノ衝動劑ナリ、胃ニ

入テハ、胃嫩衝ヲ發シ、皮下蜂巢體ヲ入テハ、呼吸器ノ嫩衝ヲ發シテ、其人斃ル、此時發スル所ノ症ハ、安質母中毒症ニ同シ、至治濃液ハ腐藥ナリ、結節腫瘍、息肉、疣贅、梅毒贅肉ヲ治ス、稀液ハ刺戟藥ナリ、腫瘍ノ愈カズ生シ、腺病、子宮癌ヲ治ス、

用法、半莖至一莖ヲ、水四莖至十二莖ニ溶カシテ外用トナシ、腐藥ニハ、或ハ末ニテ用フ、

青酸刺菑亞斯 第二百九十品

洋酸ヲ灼キ、水ニ浸出シ、又青酸ト鹽典埥刺菑

亞斯トニテ製ス、

白色骰子狀結晶ナリ、乾燥氣内ニテハ、無臭ナレド、濕氣ニ觸レハ、苦扁桃ノ如キ臭氣アリ、強亞爾加里味アリテ、苦扁桃ノ如シ、

水ニ容易ク、亞爾箇兜ニハ難シ、

功能、總テ青酸ニ同シ、固有ノ酷屬性アリ、消焮、麻醉、解凝、刺戟、祛痰、之ヲ外用スルコト多量ナルカ、若クハ連用久シケレハ、引赤、發疹、或ハ腫瘍ヲ發ス、内用スレハ、健脊髓ヲ刺戟シ、神經機能ヲ亢奮ス、但シ大量ナレハ、之ヲ抑壓ス、麻醉、昏迷

脈管系ニ於テモ亦然リ、微量ニテハ機能ヲ充
 起シ、疎通解礙、多量ニテハ血行ヲ遲徐ナラシメ、麻
 痺ニ、極テ大量ナレハ、速カニ死ス、又青酸刺篤
 亞斯溶液ハ、金液、白金液ニ由テ發スル所ノ暗
 斑ヲ消散セシム、
 主治 凡ソ青酸ヲ用フヘキ諸症ニ内外施用
 ス、内服ハ、神經痛、殊ニ脈管機能歇私的里、尤起スル者舞蹈
 病、胃腸不和、嘈雜、呼吸器痙攣、脊髓諸患、感覺銳
 者、敏ニ起又之ニ由テ、疼痛甚シク、苦悶留連スル者、脊
 髓及ヒ其膜ノ痙攣諸患、急性期已ニ經過スル者、神經系ノ

諸患、絶テ溶崩性ヲ併セサル者ニ良ナリ、外用
 ニハ、水、亞爾菌兒ニ溶化シ、又軟膏トナス、頭痛
 偏頭痛、顔面痛、胃痛、皮膚及ヒ關節疼痛、皮疹ヲ
 兼ル臍痛、腺毒性眼疾、
 用法 内用六分ムノ一、至半ム、一日二三回
 溶劑ハ、一分ヲ、蒸餾水八分ニ和用ス、或ハ丸ト
 ナス、外用四ム、五ム、十ムヲ、蒸餾水八錢ニ溶化
 ス、軟膏ハ、二ム、五ム、十ムヲ、未トナシ、或ハ脂八錢ニ和ス、膏ニ調和ス、賢堊
 爾麻質ニハ、或ハ每用一ム、刺戟
 甚クシテ、疼痛、壞疽ヲ生スルコトアリ、

沃實涅利篤亞斯

單ニ沃實涅ト利篤亞ストヲ混和シ、或ハ炭酸

利篤亞スト沃實涅水素酸トヲ飽和セシム、水

氣ヲ蒸散シテ、結晶セシム、

白色股子狀、殆ント無臭ノ結晶ナリ、酷厲甘様

後稍苦味ナリ、濕氣ニ觸レテ滋潤ス、

水、及ヒ亞爾箇兒ニ溶ク易シ、

惡液諸病、殊ニ徽毒腺病、慢性皮膚病、水腫、急性水

腫、猩紅熱、癩麻質、殊ニ關節癩麻質、腹部室扶斯

合併症ナク、粘液膿積ナキ症ヲ云、瀉毒流涎、慢性鉛毒、白帶下、腫

瘍、頸腫、孩兒頭血腫、硬結、癭腫、慢性眼病等ニ効

アルハ、世普子ク知ル所ナレハ、之ヲ詳記スル

ハ要ナレ、故ニ今唯其最好ノ用法、諸劑ヲ掲ク、

沃實涅利篤亞斯、舍利別方、莎爾莎根、薩莎

弗刺斯、朴倭福烏篤、海葱、旃那各二、石適

宜量ノ水ニテ煮テ、六斤ヲ取り、糖、或ハ蜂蜜ヲ

和ス、此舍利別十斤中、沃實涅利篤亞斯三十二

錢ヲ和ス、則チ舍利別百斤中、沃實涅

腺腫、乳癌、腺病諸患、痛風、徽毒、用法一日二食匙、

至六食匙、

沃實涅利篤亞斯膏方 加、何油 甘扁桃油

各四 沃實涅利篤亞斯 四 勿蓬砂 勿搗茶產者一

和玫瑰油 二滴 右研勻膏トナス、之ヲ貯フル

三月ナルモ、損敗セス、

沃實涅利篤亞斯驗方 拔爾撒謨油 或ハ石鹼

亞爾箇兒 百四十 沃實涅利篤亞斯 十二 橙皮油

一錢 右調和ス此法久ク貯フルモ損敗セス、殊

ニ皮膚感覺銳敏ニシテ、脂ニ堪ヘサル者ニ用フ

ハシ、

新藥百品考二編卷之上 終

終